



ましきな

校是：向学 誠実 開拓
 与論町立那間小学校
 TEL 0997-97-2278
 FAX 0997-97-4950

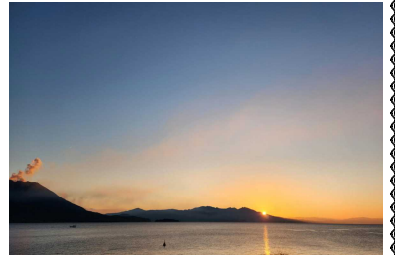


「新しい年のはじめに・・・」

那間小学校 校長 有留 雄一郎

明けましておめでとうございます。今年は天気にも恵まれ、各地で初日の出を拝み、各家庭では神社参りなどをして新しい年を迎えたことだろう。また与論の各公民館では、拝賀式、そして新年会が催され賑やかなスタートとなったことだろう。

私も家族と早い内に初詣をすませ、新年の挨拶を終えてのんびりとテレビを見ていた。その矢先、突然テロップが流れ「今すぐ逃げること!」「早く避難してください」という強い口調のアナウンス。「何が起こったのだろう。」しばらく理解ができず、チャンネルを切り替えた。どの局も能登半島、震度7の地震速報。さらにそれに伴う津波速報。能登半島を中心に石川県または北陸地方では、多くの尊い命が失われ、そして住まいや財産を失い、ライフラインを破壊され、突然日常を奪われた。懸命に行政関係者及び消防・警察関係者や自衛隊等が救済に当たってはいるが、この極寒の中未だ1万5千を超える人々が避難所生活を送っているという。



連日新聞やニュース等で報道がなされているが、目にとまった記事があった。

「同じ避難所 高2恩返し」 2007年3月、生後間もない女の子が能登半島で震度6の大地震を体験し、そして今高校2年生となり、また同じ避難所に避難しているという。母親からこの避難所でみんなにあやしてもらったり沐浴してもらったりとみんなから助けられたことを聞かされ、「またか」と思うはずが、「今度は自分の番だ」と同じ避難所で懸命に炊き出しや物資の運搬、配布を手伝っているという。故郷を思う強い気持ちだ。

また、ある小学校では、体育館に避難している方々へ小学校に通う子どもたちが、「大変ですが、みんなできいっしょに頑張っていきましょう」と声をかけたというニュース。その他にも被災した高校生や若者が高齢な方が少しでも気持ちよく生活できるようにトイレ用の水を川からくみ上げ、そしてその水を避難所の各階に運んでいるというニュース等 日々様々な視点から多くの報道がなされている。

これだけ甚大な災害の中で、**負けずに懸命に生きようとする力、明日へ向かう勇気、そしてお互いを思いやり、助け合い、支え合っている姿に日本人の心「和の心」**を感じてやまない。

何かできないものかと考えていると、那間小の6年生が「被災した方々のために募金活動をしたい。」と申し出てきた。手作りの呼びかけのポスターを作成し、校内と校区内の3つの商店に募金のお願いをすることとなった。その気持ちが大変嬉しい。皆様、御協力をよろしく願いいたします。

多くの尊い命が失われたこと、甚大な被害を被った方々、地域に哀悼の意を表すとともに被災された方々に一日でも早く日常がもどりますように心より復興を願う。

さて今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」ネットで調べてみると、

「甲」は十干の最初に位置し、生命や物事の始まりを意味しており、硬い殻の発芽しない種子の状態を表しているとのこと。また「辰」は想像上の生き物「龍」を指し、「力強さ」や「成功」を象徴し、新たな始まりやチャンスの兆しという。この「甲辰」は、成功に繋がるための努力が種子の内側でどんどん育っていく年だとされているらしい。エネルギーが充たされていく年ともいえる。



新年を迎え、「さあやるぞ!」というワクワクした決意をもって子供たちは3学期をスタートさせた。その一人一人の決意を大切にしつつ、うちに秘めたる気持ち(エネルギー)を育みながら、今いる友だちや先生とともに笑顔いっぱい過ぎ、多くの思い出をつくりあげ、次の学年への準備としたい。

職員一同「チーム那間」として最後の仕上げをしていきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月



- 12日(金) 学級PTA
- 13日(土) 土曜授業
- 15日(月) 給食旬間(～31日)・生産者との交流会
- 16日(火) 鹿児島学習定着度調査(～17日)ぐーじゃー号
- 19日(金) 中学校入学説明会
- 30日(火) 避難訓練(地震)
- 31日(水) 持久走大会・学校保健委員会

2月

- 2日(金) 黒糖作り(4年)
- 3日(土) 町P連研究大会
- 6日(火) 「生命誕生」助産師講和
- 7日(水) 校内なわとび大会(～9日)・新入児保護者説明会
- 9日(金) 新1年生との交流会
- 15日(木) ユンヌフトゥバ学習
- 22日(木) 授業参観・学級PTA 専門部会

